バイオインフォマティクス春の学校開催報告

藤 博幸（京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンター）

近年バイオインフォマティクスへの関心は高まっているものの、これまでのような場が存在するかわからないという学生も多いようです。そこで、バイオインフォマティクス学会の後援を受けて、京都大学医学部の科学技術振興調整費による数万人の学生向けの「バイオインフォマティクス春の学校」が3月29日から2日間開催されました。

春の学校は、今年初めての試みであり、反省すべき点も多々ありました。そこで、4月22日に入会記念ミニ講演会を開催することになりました。"春の学校では、バイオインフォマティクスの教育が期待されていることを痛感しました。今年度のそうした反省点をふまえて、来年度も春の学校を開催することになりました。来年度には、大阪大学大学院、東京大学大学院など多くの大学が参加する予定です。

また、今後も春の学校は、新しい春の学校、または春の学校の開催を検討している。